

第3章

地区計画

地域では、住民、自治会町内会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、ボランティア団体、福祉関係事業者、NPO法人などが地域の福祉保健活動に取り組んでいます。

1 地区区分と概況

港北区内には、152の自治会町内会があります。

また、自治会町内会の連携調整や地域住民の福祉増進のため、広域的な事業を実施する地域住民組織として、13の地区連合町内会と地区社会福祉協議会があります。

<地区の概況> (連合町内会区域別)

地区	人口 (人)	世帯数 (世帯)	平均世帯規模 (人/世帯)
日吉	75,184	37,774	1.99
綱島	44,283	21,907	2.02
大曽根	11,005	5,506	2.00
樽町	17,764	8,233	2.16
菊名	40,752	22,581	1.80
師岡	10,532	4,860	2.17
大倉山	25,314	12,216	2.07
篠原	41,584	20,633	2.02
城郷	24,169	11,765	2.05
新羽	13,075	6,591	1.98
新吉田	28,552	13,054	2.19
新吉田あすなろ			
高田	18,677	9,021	2.07
連合区域計	350,891	174,141	2.01

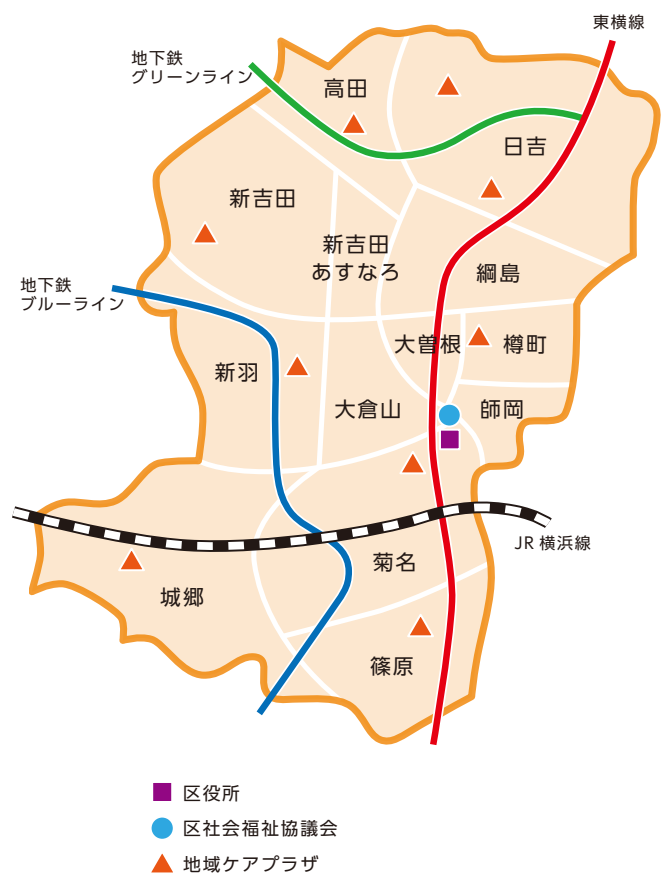
*「町丁別の年齢別人口」(住民基本台帳)による令和2年9月末現在

*新吉田地区と新吉田あすなろ地区は、データ集計の都合で両地区の合計値を表示。

*各地区の数値は各町丁目を単位として集計していますので、一部地区については連合町内会区域と差異が生じている場合があります。

<地区の区分>

13地区の地図





2 地区計画の策定・推進

港北区では、連合町内会・地区社会福祉協議会エリアを単位とした13の地区ごとに住民が主体となり地区計画策定・推進委員会を立ち上げ、地区計画を策定・推進しています。

地区計画策定・推進委員会は地区連合町内会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員など、地域の福祉保健活動に関わる団体や関係機関が主体となり構成されています。他、区役所・区社協・地域ケアプラザのサポートスタッフが参加し、計画の策定推進に取り組んでいます。

地区計画 目次

日吉	光と活力に満ちあふれる日吉 ～ 一つひとつの活動が光り、大きな活力に発展するまち～
綱島	賑わいと安らぎ 古くて新しいまち 綱島
大曽根	ハートフル大曽根
樽町	思いあいのまち 樽町
菊名	みんなで支えあうまちづくり 菊名地区
師岡	わが町師岡 - 未来につなげる・住みよいまちづくり -
大倉山	『あいの町大倉山』 [IV] - ふれあい・支えあい・助けあい -
篠原	わがまち篠原
城郷	たすけあうまち城郷
新羽	「和・輪・話」のまち につば
新吉田	いいな！ みんなのまち 新吉田
新吉田あすなろ	明るく 楽しく 支えあう ヒューマンネットワーク あすなろ
高田	みんなが笑顔 助け合いのまち高田

光と活力に満ちあふれる日吉

～一つひとつの活動が光り、大きな活力に発展するまち～

わたしたちが 目指すまち

- みんな元気で笑顔であいさつするまち
- ひろめよう笑顔たやさず明るいまち
- 新しいとなつかしさがつながるまち
- みんなでたすけあい 災害をのりきるまち
- 住んでよかったと思えるまち



3期計画5年間の町あるきのあゆみと防災マップをまとめた記念誌を作成しました。

【地区の概況】

地区の概況

区の北部にある地区です。地区内には東急東横線日吉駅、市営地下鉄グリーンラインの日吉駅、日吉本町駅があります。共同住宅に住む人の割合が多い地区です。

人口等の特徴

人口は約75,180人、世帯数は約37,770世帯、平均世帯規模は1.99人です。(令和2年9月末時点)人口、世帯数は緩やかな増加が続き、特に東横線東側の町で、増加傾向がみられます。20代の転入が多く、子育て世帯が増加しています。高齢者は、単身世帯や高齢の夫婦のみの世帯を中心に増えています。

3期計画の振り返りと4期計画の方向性

◆ 今までの取組

「防災から福祉を考える」をテーマに5地区において地域の特性に従い、福祉保健課題に対する話し合いを重ねました。町あるきにより、要援護者などの配慮が必要な人や、崖や塀などの危険箇所や災害時に役立つ情報を確認し、地区ごとに防災マップを作成しました。さらに、これらの取組を「光と活力」福祉実践活動発表会で発表し、広く周知を行いました。

◆ 地域の現状と課題

日々の活動や町あるきを通じて把握してきた要援護者(高齢者、障害者、子育て世帯など)とのつながりづくりが必要です。また、地区活動の担い手が不足している状況です。

◆ 今後の方向性

「地域のつながり作りを考える」を4期の共通テーマとし、各地区の状況に応じた取組を進めます。また、インターネットを活用した情報発信を行います。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

5地区のケア委員会の他、自治会町内会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会などの関係者で構成する日吉地区「ひっとプラン港北」推進委員会を開催し、計画全体の振り返りを行います。

5 地区地域ケア委員会ごとの取組目標と活動内容

日吉地区「ひっとプラン港北」
共通テーマ
地域のつながり作りを考える

『様々な世代が交流する場の充実、顔の見える関係づくりの推進』

- 日吉町**
- ・情報発信の強化（SNS など様々な媒体の活用・関係機関との連携）
 - ・「なかよし」や「ひよっしい」など、多世代が参画できる交流の場の拡充。

『情報をひろげていくことで、人と人・人と地域をつなげていく』

- 日吉宮前**
- ・ケア委員会での取組や活動を地域に発信する。
 - ・活動の理解や顔の見える関係づくりにつなげ、興味をもってもらう情報発信の方法を検討。

『みのわの輪でつくるつながり』

- 箕輪**
- ・災害時要援護者の見守りの実施。多世代交流（ひだまりサロン）子育て支援（WAIWAI みんなの箕輪クラブ）、町内会・子ども会・親和会などの取組を継続。
 - ・SNS やホームページなどの情報発信、オンラインを活用した高齢者のつながりづくりを行う。

『災害時要援護者支援の地図化・地域ぐるみの子育て環境づくり』

- 日吉本町**
- ・なごみの会、コンフォールサロンのつどい、元気づくりステーションの高齢者支援。
 - ・地域の子どものとの交流と連携。
 - ・「障がい児者のよりどころ ふれんど」の災害時安否確認方法と共有。

『あなたと地域の絆でたすけあえるまち』

- 下田**
- ・一人ひとりが地域行事や健康づくりに参加し、住民同士のつながりの大切さが理解されることを目指す。
 - ・感染予防に留意しながら可能なつながりづくりの推進。

5 地区の取組を広く普及啓発します

高齢者

障害児者

子育て

ボランティア

災害時
要援護者

第3章

地区計画

これまでの地域の活動 ～全体での取組～

「光と活力」
福祉実践
活動発表会



町あるき



活動に関する問合せ

◆ 日吉本町地域ケアプラザ
TEL.045-566-0360 FAX.045-566-0362
HP.<http://www.ryokuhokai.or.jp/~hiyosi/index.html>

◆ 下田地域ケアプラザ
TEL.045-563-9081 FAX.045-563-9083
HP.<https://shimoda-cp.jimdofree.com/>



「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆ 港北区役所福祉保健課事業企画担当
TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368
Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp
◆ 港北区社会福祉協議会
TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561
Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

賑わいと安らぎ 古くて新しいまち 綱島

わたしたちが 目指すまち

- ・ みんなが育てあい 育ちあい 愛着のあるまち 綱島
- ・ だれもが元気で優しく 住みつづけたいまち 綱島
- ・ 防災防犯で安心安全 たすけあいのまち 綱島

【地区の概況】

地区の概況	東横線沿線の住宅地で、地区の中央に綱島駅、南側は鶴見川に面しています。現在、新綱島駅周辺の整備と開発が行われており、今後、町は大きく変わります。
人口等の特徴	居住歴が10年未満の人が6割を超え、平均世帯人員は区の平均を上回っています。
福祉保健活動の状況	防災・防犯に関する意識が高いほか、様々な行事やイベントを通じて住民同士の交流に取り組んでいます。

3期計画の振り返りと4期計画の方向性

◆ 今までの取組

子育て支援関係者による子どもの安全確保に向けた検討や、地域の子育てマップの作成、災害時に支援を要する方への見守り等の取組を進めてきました。また、身近な地域の情報発信や交流の場づくりに取り組んでいます。

◆ 地域の現状と課題

交通の便の良さなどから、今後も若い世代の転入が予想される地区です。一方で、特に若い世代で地域活動に参加しない住民も多いことや、ひとり暮らしの高齢者も増えています。また、コロナ禍により、これまで以上に地域内の交流が希薄となっています。このため、地域住民のつながりを広げ、多くの住民に取組に参加してもらうことが課題です。

◆ 今後の方向性

多くの住民に地域とつながり、愛着を感じてもらい、活動に参加してもらえよう、まちの魅力を発信し、身近な地域での交流を活発にしていきます。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

自治会町内会や地区社会福祉協議会、各活動団体が、計画に基づいて推進を行い、地区計画推進委員会でその状況を共有します。

地区計画推進委員会は、各活動団体等の代表者で構成し、地区計画の進ちょく状況の確認や振り返り、今後の方向性を検討する他、一部の事業を実施します。

目 標

- ・ 住民同士の顔の見える関係づくりを進めます
- ・ 子どもたちを地域で見守り、子育てにやさしいまちをつくります
- ・ 地域活動の中核となる人材を確保します
- ・ 誰もが参加できる健康づくりの活動を増やします
- ・ 情報が伝わり、相談しやすい環境づくりを進めます

これまでの地域の活動



「歌声サロン」の開催



「健康体操」の開催

「つなしま子育て地域情報」の発行



「防災袋」の配布

活動に関する問合せ

◆ 樽町地域ケアプラザ

TEL.045-532-2501

FAX.045-533-0025

HP.https://www.y-kyousei.or.jp/tarumachi-cp/



「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆ 港北区役所福祉保健課事業企画担当

TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

◆ 港北区社会福祉協議会

TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

ハートフル大曽根

わたしたちが
目指すまち



ハートフルくん

いつまでも住みたいまち大曽根

交流の盛んなまち
ささえあいのあるまち
安全、安心なまち

【地区の概況】

地区の概況

東横線の綱島駅と大倉山駅の間にあり、戸建て住宅が多い住宅地です。

人口等の特徴

居住歴が長い人が多く、港北区の中では高齢者の割合がやや多い地区です。一方、鉄道沿線で利便線が高いこともあり若年層の転入傾向が続いていることから、20歳代後半～40歳代の世代も多く暮らしています。一人暮らし世帯が増加し、二人暮らし世帯と合わせて世帯全体の2/3を占めるようになってきました。人口、世帯数は今後緩やかに減少し始め、高齢者の割合が増加していきます。

3期計画の振り返りと4期計画の方向性

◆ 今までの取組

「ザ・ニュース大曽根」「イベントカレンダー」の発行や「ハートフル大曽根ホームページ」で、地域の情報発信に力を入れてきました。

防犯・防災の啓発、認知症予防などの住民向けの講座を行いました。

◆ 地域の現状と課題

地域では高齢者向け、子育て世代向けなど多くの活動が盛んですが、担い手不足です。

一人暮らしや夫婦二人暮らしの高齢者が増えており、見守りが必要となってきています。一方で新しい住宅を中心に若い世代も増えており、新旧・異世代の住民交流が課題です。

◆ 今後の方向性

これまでの取組を継続できるように、団体間の連携やあらたな人材の発掘に取り組んでいきます。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

地域で活動するそれぞれの団体計画に基づいて取り組みを行い、「ハートフル大曽根」事業推進委員会でその状況を共有し、進捗状況の確認、振り返り、今後の方向性の検討を行います。

目 標

◎行事や活動に多くの方が参加し、交流の盛んなまちづくりを進めます

- ・地域の行事や活動を住民に知らせ、多くの方の参加を促します。
- ・子どもから高齢の方まで参加できる場を増やします。

◎穏やかな見守り、ささえあいのあるまちづくりを進めます

- ・地域で見守りささえあいの活動を継続、充実します。

◎いつまでも住み続けたい、安全、安心なまちづくりを進めます

- ・防犯パトロールや登下校の見守り活動を継続し、多くの方に参加を呼びかけます。
- ・災害に備える活動を充実します。

大曽根地区の主な活動

- 盆踊り大会
- 大曽根八幡神社例大祭
- 健民祭
- 大曽根みんなの福祉まつり
- おおそねハートフルコンサート
- 地域防災拠点訓練
- 下校時パトロール（S隊）



情報発信

ザ・ニュース大曽根
イベントカレンダー



ハートフル大曽根ホームページ
<https://www.heartful-osone.com>



高齢者

- 配食よつ葉会
- 火曜・木曜サロン
- タどきサロン
- らくらく体操
- 花しょうぶ
(ミニデイサービス)
- ささえあいネットワーク



子育て・子ども

- 赤ちゃん会
- おおそねちびサロン
- ベビそね
- 子ども会
- ペットボトルロケット大会



趣味・健康

- 棋楽会
- 折り紙教室
- 大曽根歩こう会
- 健康麻雀サロン
- 男の料理教室
- ペタンク／グラウンドゴルフ



活動に関する問合せ

◆ 樽町地域ケアプラザ
TEL.045-532-2501
FAX.045-533-0025
HP.<https://www.y-kyousei.or.jp/tarumachi-cp/>



「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆ 港北区役所福祉保健課事業企画担当
TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368
Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp
◆ 港北区社会福祉協議会
TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561
Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

思いあいのまち 樽町

人の輪がひろがり、
顔が見えるまち

みんなが助けあい、
心のふれあうまち

明るく挨拶、声をか
けあう住みよいまち

【地区の概況】

- 北側に「鶴見川」、南側に「熊野神社市民の森」、真ん中に「新幹線」が通っています。
- 綱島ラジウム温泉発祥の地としても知られ、大正から昭和中期までは温泉と田園が中心でしたが、高度経済成長期には工場や倉庫が並ぶ工業地帯となりました。
- 東急東横線の綱島駅と大倉山駅の間にあり通勤や通学に便利なおことから、徐々にマンションや戸建ての住宅地になり、人口が急激に増加しています。

★17,764人（2021年9月末現在）※10年間で約34%増加

3期計画の振り返りと4期計画の方向性

◆ 今までの取組

- ① 住民同士の交流
「樽町移動動物園」、「樽町歩こう会」、「ふれあいのつどい」などの企画開催
「樽町体育祭」「杉山神社お祭り」などの地域イベントへの協力
- ② 子育て支援・高齢者支援
「ちびたる」、「交通安全教室」、「樽町なごみ食堂」、「わかば会」などの開催支援
親と子のつどいの広場「ひだまり」の情報発信支援
- ③ 情報発信
「思いあいのまち樽町」（HP）の運営、「イベント掲示板」の発行

◆ 今後の方向性

- ①② コロナ禍においても、関係づくりや支援ができる方法を検討していきます。
- ③ 「たるまちLINE掲示板」によるスマートフォンへの情報配信を開始し、樽町地区のSNS、オンライン会議の利用を推進します。
- ④ 介護（認知症を含む）に関する支援の取り組みを検討していきます。

樽町地区福祉保健計画は、地域の住民と団体（樽町連合町内会、樽地区社協等）が港北区と連携して、「誰もが自分らしく安心して暮らせるまち」を目指して策定しています。

「思いあいのまち 樽町」
これまでの地域の活動



樽町地区キャラクター
「たる坊」と「しょうぶちゃん」

たるまち LINE 掲示板
↓友だち募集中↓



樽町移動動物園
竜宮城には行けるかな？



樽町歩こう会
名所や旧跡を一緒に巡る



樽町体育祭
今年は優勝！ガンバレー



わかば会
食膳を囲み弾む笑顔！

2021年 4月~12月

樽町イベント掲示板
思いあいのまち樽町

LINE公式アカウント【たるまちLINE掲示板】
友だち募集中

コロナ感染の状況により、イベントの開催と内容は変更になる場合がございます。

イベント名	日時・場所	内容	参加対象	問合せ先
樽町バレー大会	5/30(日) 8:30~ 榊原川樽町公園	3人で1チームの対抗戦です。球を投げ合い、ゴールを叩きます。	各町内会、自治会 併せて開催(小学校高学年以上)	各町内会、自治会 青少年指導員 スポーツ推進委員
樽町鼓篋り大会	7/1(日) 9:30~ つたがき公園	詳細は後日お知らせいたします。	どなたでも	樽町子ども会 tadamachi@nifty.jp
樽町地区防災拠点 合同防災訓練	9/4(土) 午前中 樽町中学校	樽町地区の防災拠点となつている樽町中学校での防災訓練です。	どなたでも	各町内会、自治会
杉山神社祭典	9/5(日) 9:30~ 杉山神社	樽町地区の鎮守である杉山神社祭典です。	地域代表者	樽町杉山神社
樽町体育祭	10/3(日) 9:30~ 樽町中学校 開催日: 10/10(日)	各町内会、自治会が12チームに分かれての対抗戦戦です。	各町内会、自治会 併せて開催	各町内会、自治会
樽町移動動物園	10/21(日) 10:00~15:00 しょうぶ公園	ポニー、ヤギ、うさぎなど好遊しています。	どなたでも	親子のついでに0歳児(ひだまり) 7/17~8/20
樽町グラウンド ゴルフ大会	11/7(日) 8:30~ 10:00~15:00 榊原川樽町公園 開催日: 11/21(日)	6人で1チームの対抗戦です。16ホールを楽しく回ります。	各町内会、自治会 併せて開催(小学校高学年以上)	各町内会、自治会 青少年指導員 スポーツ推進委員
樽町子ども会 もちつき大会	12月 樽町公民館	詳細は後日お知らせいたします。	樽町在住小学生	樽町子ども会 tadamachi@nifty.jp

「思いあいのまち樽町 イベント掲示板」は、港北区 地域のチカラ応援事業の助成を受けて発行しています。



ひだまり
歯磨き教室、磨けたかな？



樽町なごみ食堂
世代を問わずカレーの夕べ



樽町 LINE 掲示板講習会
講師を招き、初心者レッスン



ふれあいのつどい
樽町中学和太鼓部の熱演



ちびたる
親と子の交通安全教室



防災訓練
情報伝達訓練

樽町公式ホームページ

<https://www.tarumachi.org/>

イベントの詳細はこちら ▶



活動に関する問合せ

◆ 樽町地域ケアプラザ

TEL.045-532-2501

FAX.045-533-0025

HP.<https://www.y-kyousei.or.jp/tarumachi-cp/>



「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆ 港北区役所福祉保健課事業企画担当

TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

◆ 港北区社会福祉協議会

TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

みんなで支えあう まちづくり 菊名地区

わたしたちが 目指すまち

子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち
健康づくりと交流で元気に暮らせるまち
安全安心に暮らす環境が整うまち

【地区の概況】

地区の概況

区の中央部に位置し、大規模なオフィスや商業地である新横浜と住宅地である菊名駅周辺が混在します。公的施設、医療機関、商業施設が多くなっています。大倉山駅、菊名駅、新横浜駅が利用され、新幹線の停車駅もある交通の利便性が高い地区です。

人口等の特徴

菊名地区の人口は約40,750人、世帯数は約22,580世帯、平均世帯規模は1.80人です。(令和2年9月末現在)人口・世帯数は増加し、特に大豆戸町、新横浜1丁目では人口、世帯数が増加しています。高齢者は増えており、今後も後期高齢者を中心に増加傾向が続きます。

3期計画の振り返りと4期計画の方向性

◆今までの取組

地区内での課題や住環境が異なることから、民生委員児童委員協議会の地区ごとに活動を進めています。令和元年度より新横浜地区民生委員児童委員協議会が増え、4地区となりました。

菊名北地区は「高齢者110番」の設置、大豆戸地区は障がい児者理解の啓発や見守り、篠原北地区は高齢者やこどものためのベンチの設置、新横浜地区は防災設備の充実など、様々な対象に向けた取組を行いました。また全ての地区で、高齢者の認知症予防(スリーA^{*1})や子育てサロンを行い、住民間のつながりづくりを進めました。

【スリーA】

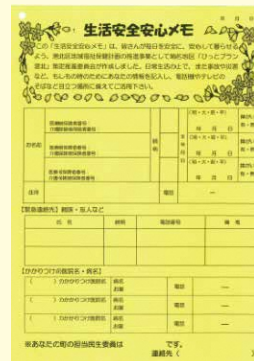


◆地域の現状と課題

高齢者の単身世帯や20~30代の若い世代の転入増加により、地域とのつながりづくりが求められています。さらに令和2年からの新型コロナウイルス感染症拡大において、外出自粛による心身への影響や、これまでの見守りさえあいが困難になる事態が続きました。

引続き、近隣との顔の見える関係づくりや見守りあいを進めます。

【生活安全安心メモ】



◆今後の方向性

生活安全安心メモの普及啓発や見守り支援、高齢者のフレイル予防^{*2}(ウォーキング、ラジオ体操などの健康づくり活動)、災害時要援護者支援、子育て支援、地域情報の発信など、4地区共通の取組と、各地区の特性に合わせた具体的な計画を推進します。

^{*1} スリーA:「明るく、頭を使って、あきらめない」の頭文字でスリーA。手遊びや道具を使い、認知症予防を行う。

^{*2} フレイル:筋力低下など、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般。

4期の目標と取組

菊名北

- ◆ 菊名北町町内会
- ◆ 大倉山喜久和会

けんこう
健幸(心も身体も健康)に暮らせ、
困った時に助け合えるまち

- ① 災害時の情報発信と協力体制の準備として、町内会のホームページを充実します。
- ② 町内会を地域の交流の場として活用します。
- ③ 高齢者のスマホ講座を開催します。
- ④ 子育て世代に向けた公園遊び、読み聞かせ会を拡大します。
- ⑤ 異世代交流の機会を検討します。

菊名北町町内会の
ホームページはこちら
をご覧ください。



大豆戸

- ◆ 大豆戸町内会
- ◆ 大倉山ハイム町内会

「おたがいさま」でつながろう

- ① 町内会館の情報発信力(ホームページ・オンライン)を生かし、新しい活動を通して地域住民の交流の場として活用します。
- ② 地域内各所で、元気づくりの活動(ラジオ体操・ウォーキング・グランドゴルフ等)や介護予防活動(スリーA体操・脳トレ)をさらに広げます。
- ③ 要援護者名簿の活用により、お互いの見守り(共助)を積極的に行えるようになります。



ラジオ体操で
元気になるう!

4 地区共通

健康づくりの取組 スリーAの取組 生活安全安心メモの普及

篠原北

- ◆ 錦が丘町内会
- ◆ 表谷町内会
- ◆ 泉ヶ丘町内会
- ◆ ふじ町内会

キーワード「動かそう」

- ① フレイル予防として屋外でのラジオ体操や30分~1時間のウォーキングを行います。
- ② ちょっとしたお休み処として設置したベンチを急坂など必要とされる箇所に今後も増設します。
- ③ 感染症予防に配慮し、スリーA教室や1,2,3歳児の会、子育てサロンなど屋内の活動に取り組みます。



交流の場にも
なっています

新横浜

- ◆ 新横浜町内会・新横浜自治会
- ◆ アデニウム新横浜自治会

しんみになって
よろこびをわかちあおう
こころから

- ① 住民だれもが「つながって、ささえあって、そして明るい未来へ」向かうために、心も身体も健康でいられることを目標にします。感染症予防に配慮し、屋外の活動も増やします。
- ② 子育て世帯向けの「生活情報マップ」の準備をし、家庭内での情報共有を目指します。
- ③ 災害用トイレやかまどベンチなどの使用訓練を行い、災害に備えます。



活動に関する問合せ

◆ 大豆戸地域ケアプラザ
TEL.045-432-4911
FAX.045-432-4912
HP.<http://www.hama-wel.or.jp/branch/mamedo/>



「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆ 港北区役所福祉保健課事業企画担当
TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368
Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp
◆ 港北区社会福祉協議会
TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561
Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

わが町師岡

- 未来につなげる・住みよいまちづくり -

わたしたちが 目指すまち

- ・「こんにちは」と笑顔で挨拶できるまち 師岡
- ・みんなの知恵を生かして進むまち 師岡
- ・あたたかく地域が見守る子育てのまち 師岡
- ・こまったら相談してよと言えるまち 師岡

【地区の概況】

地区 の概況

区の東側中央に位置している地区で、戸建住宅に住む人が区平均と比較してやや多く、持ち家に住む世帯の比率が60%程度です。地区の北側と南側は丘になっており、地区の中央を幹線道路環状2号線が通っています。最寄りの鉄道駅は大倉山駅です。

人口等 の特徴

20～34歳が転入し増加する傾向が続いています。6歳未満の子どものいる世帯のほとんどが夫婦と子どもの世帯です。今後、年少人口は安定した状態が続き、高齢者数は増加する傾向が続きます。

3期計画の振り返りと4期計画の方向性

◆ 今までの取組

3期では、4つの分科会（①地域活性化・情報発信 ②子育て ③住民交流 ④見守り・支援）に分かれて企画し、活動を行いました。

- ① ホームページを活用した広報活動や落語会・寄席等のイベントの企画、パソコンサロンの開催
- ② ラジオ体操、かけっこ練習会の開催・師岡子ども学習会の実施
- ③ 健康麻雀や男の料理教室の開催、住民交流の場としての「里山クラブ」の開設
- ④ 老人会や民生委員との連携による、ひとり暮らし高齢者の見守り活動や認知症サポーター養成講座の開催

◆ 地域の現状と課題

4つの分科会で取り組みを行う中で、各町内会での様々な見守り活動や、様々なイベントが行われ多くの住民が参加するようになっていくとともに、これまで地域の中で育んできたつながりについての再確認も行うことができました。

こうした地域のイベントへの参加による地域の連帯感をより持てるように活性化させるとともに、これらの企画や運営にも関わる若い力を増やしていくための工夫が必要です。

◆ 今後の方向性

3期における各分科会の活動を発展させ、町内会の各事業部活動の活性化と連携を深めることで、地域での助けあいや支えあいの輪をひろげていきます。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

地域の活動団体や分科会で取り組みを進め、地区計画推進委員会において進ちょく状況の確認、振り返りと今後の方向性の検討を行います。

師岡地区計画推進の柱

G.1
情報共有で絆を深める
まちづくり

G.2
次世代を心で繋ぐ
人づくり



G.3
明るく声掛け
安心づくり

師岡地区ネットワーク

環境事業推進部

減量化・資源化・一般廃棄物の適正処理、地域の清潔な保持等の推進に関する横浜市の施策への協力等を行います。また、ヨコハマ3R夢プラン及び環境事業の円滑な運営と師岡地区の生活環境の向上を図ります。

広報部

わが町師岡の活動の情報を発信します。

師岡防災会

町内全域での火災・災害発生時の救助、師岡地区の皆様への防災知識の普及啓発、火災予防の広報を行います。

交通防犯部

交通・防犯の抑止力となるよう活動しています。

家庭防災部

「災害に強い街」を作るために防火、防災、減災のスキルを身につけ、HPなどで町内の皆様に発信します。

子ども会

地域ぐるみで子どもたちの健全な育成を支援します。

スポーツ推進部

スポーツを通じて町内の皆様の健康維持とコミュニケーションの場を作ります。

老人クラブ連合会

師岡地区社会福祉協議会と連携し、高齢者の健康づくりや福祉活動に取り組みます。

ミニバスケット
ボール部

ソフト
ボール部

青少年指導部

次世代を担う青少年が健やかに、のびのび育つことは、社会全体の願いです。学校、家庭、地域社会、行政が一体となり青少年のより良い、地域環境を作り上げる必要があります。他団体とも連携し「青少年の健全育成」に向け活動していきます。

師岡女性の会

師岡地区社会福祉協議会と連携し、健康体操など健康づくりや福祉活動に取り組みます。

テニス部

剣道部

高齢者見守り隊

誰もが安心して暮らせる見守り活動で皆様をサポートします。

保健活動推進員

師岡地区社会福祉協議会と連携し、ウォーキングなど明るく元気に自立できるように、皆様を支援します。

民生委員・児童委員

子どもも高齢者も安心して暮らせるよう、活動していきます。

もろおか里山倶楽部

こども学習会

子育てルーム
どーなつ

師岡小学校・樽町中学校
キッズスクール
師岡学童保育所
師岡トレッサ学童クラブ
ともだちの丘

師岡地区連合町内会
師岡地区社会福祉協議会
「ひっとプラン港北」師岡
地区計画推進委員会

トレッサ横浜
コミュニティハウス

活動に関する問合せ

◆ 樽町地域ケアプラザ
TEL.045-532-2501
FAX.045-533-0025
HP.https://www.y-kyousei.or.jp/
tarumachi-cp/



「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆ 港北区役所福祉保健課事業企画担当
TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368
Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp
◆ 港北区社会福祉協議会
TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561
Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

『あいの町大倉山』【Ⅳ】

- ふれあい・支えあい・助けあい -

わたしたちが 目指すまち

- ・住民一人一人がつながり、助けあいのできるまち 大倉山
- ・住民同士があいさつし合うことから、心を太っちょにしていくまち 大倉山
- ・新しい住民が増えているまちであり、新旧住民や世代を超えて「ふれあい・支えあい・助けあい」、いざという時にも強いまち 大倉山
- ・住民みんなが積極的に地域活動に参加して、健康で住み良いまち 大倉山

【地区の概況】

地区 の概況

東横線沿線の地区で、地区内に大倉山駅があります。地区の西側は鶴見川に面し、北東側は大倉山公園や太尾見晴らしの丘公園等がある丘になっています。共同住宅に住む人の割合が多く、70%を超えています。

人口等 の特徴

人口は約 25,310 人、世帯数は約 12,220 世帯、平均世帯規模は 2.07 人です。令和 2 年 9 月末現在）人口・世帯数は緩やかに増加し、20 歳代の転入や 6 歳未満のこどものいる世帯が増えています。高齢者も増加し、今後 20 年間で現在の 1.5 倍近くになる見通しです。

3 期計画の振り返りと 4 期計画の方向性

◆ 今までの取組

子育て支援・青少年の健全育成・健康づくり・高齢者支援等の 6 つの社会福祉協議会の部会活動や、地域の交流イベントを実施してきました。また地域住民の交流を深めるため「大倉山夢まちづくり実行委員会」を設立し、町内会・商店街・地域の団体が一体となって健康で住み良い町づくりを進めています。平成 30 年～令和 2 年度には、横浜市みどりアップ計画の「花と緑のまちづくり」活動に町全体で取り組み、各町会にそれぞれ花壇を創設し、憩いの場・交流の場を拡充しています。

◆ 地域の現状と課題

子育て世代を含め住民が増えている地域であり、子育て支援や児童の見守り活動の充実をはかることが求められます。また、高齢者が年々増加の傾向にあり、高齢者への支援活動をより充実していきます。住民だれもが世代や新旧を問わず、安心して健康で住み良い町づくりを目指して活動します。

◆ 今後の方向性

住民の意向を確認しながら部会活動を進めていきます。「花と緑」を通じた地域の交流活動や地域のイベントへ多くの住民が参加できるよう情報発信します。（ホームページでの発信も活用します）学校・地域・防犯連絡協議会等と連携して、あいさつ運動などを通じ住民同士の交流を活性化させることにより、通学路等の安全確保や、いざという時にも強い絆を目指し活動していきます。また、災害時要援護者の情報共有・安否確認など、災害に備えた取組を継続します。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

進捗状況の確認・振り返りは毎月 1 回の「大倉山夢まちづくり実行委員会」の推進会議で行います。推進会議の構成メンバーは連合町会・地区社協の役員及び理事、商店街役員、地域の各団体の代表者となっており、行政の関係者の皆様にもご出席頂き開催しています。

今後5年間の目標

- 子育て中の方が安心して暮らせるやさしい町づくりを進めると共に、青少年にとって健全な環境づくりを推進します
- 誰もが健やかに安心して暮らせる環境づくりや活動を推進します
- 新旧住民及び世代を超えた地域住民の交流活動を行い、地域の絆を強めていきます
- 地域の団体が主催する交流活動に、協賛または協働で活動します
- 多くの住民が活動に参加できるよう、地域の情報を発信します

これまでの地域の活動

• 子育て支援活動

子育てサロンの開催



• 青少年の健全育成活動

- 小中学校長、PTA、地域が協働で検討会の実施
- 「子ども110番の家」の有効的な運用の検討
- あいさつ運動を広く推進していくことを検討、そして地域の絆を強くしていきたい
- 今後も、毎月一回の会議で積極的に推進する



• 災害時要援護者

支援の仕組み作り



• 高齢者・障がい者支援活動

高齢者への家事支援



高齢者向けのサロンの開催



元気づくりステーションの開催



グラウンドゴルフ等の交流会



• 地域住民の交流活動

支えあいまつり



さくらまつり



ウォーキング



「花と緑」の活動



• 地域団体への支援活動

子育て支援拠点：どろっぷデー



大倉山商店街：ハロウィン



みどりアップ：駅前花壇の花植え



ミエル：シニアサロン



祭礼：全町会の神輿・山車合同パレード



• 地域への情報発信

- ホームページ <http://okura-yumemati.com/>
- 「大倉山のふくし」「みどりアップニュース」の発行
- ちらしや掲示板での行事のお知らせ



活動に関する問合せ

◆ 大豆戸地域ケアプラザ
TEL.045-432-4911
FAX.045-432-4912
HP.<http://www.hama-wel.or.jp/branch/mamedo/>



「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆ 港北区役所福祉保健課事業企画担当
TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368
Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp
◆ 港北区社会福祉協議会
TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561
Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

わがまち篠原

わたしたちが
目指すまち

安全で安心して暮らせるまち

ひとりひとりが つくる 篠原
子どもも大人も いきいき 篠原
みんなで 声をかけあう 篠原



わがまち篠原 HP



【地区の概況】

地区の概況

区の南部に位置し、地区内には東急東横線の妙蓮寺駅、市営地下鉄ブルーラインの岸根公園駅があり、菊名駅や新横浜駅にも近い位置にあります。戸建て住宅に住む人の割合が約43%を占め区の平均（約38%）を上回っています。

人口等の特徴

人口は約41,580人、世帯数は約20,630世帯、平均世帯規模は2.02人/世帯です（令和2年9月末時点）。20歳代の転入が増加しており、全体として人口や世帯数は緩やかに増加する傾向が続いています。また、6歳未満の子どものいる世帯が増えています。

3期計画の振り返りと4期計画の方向性

◆ 今までの取組

1. 「わがまち篠原」連絡会の定期開催（毎年11月）
2. 「わがまち篠原」活動報告会の定期開催（毎年3月）
3. 篠原福祉ネットワークのメンバー拡充
（ミニデイサービス + とも・とも篠原、しのはら相談室、オレンジ♡しのはら）
4. 「わがまち篠原」ホームページの二次元バーコード作成
5. とも・とも篠原（障がい児放課後余暇支援事業）の対象者拡大
（従来は小学5年生～だったが、小学4年生～中学3年生へ変更）
6. しのはら相談室の対象業務に「安心コール」（安否確認）を追加
7. ルンルンロコモ体操教室の新規開催（月3回）

◆ 地域の現状と課題

地域の現状

- ・自治会毎のミニデイサービスなど、福祉活動が多数行われている。
- ・山坂のある地形と地域住民の高齢化により、自宅に閉じこもりがちの方が増えている。

課題

- ・地域・福祉活動の担い手の高齢化と共に、男性および若い世代の担い手が少ない。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

- ・「わがまち篠原」連絡会にて計画推進状況を確認し、「わがまち篠原」活動報告会で当該年度の振り返りを行い、次年度の取り組みに繋ぐ。

今後の方向性【現在の個別活動の継続・充実と下記2～6を踏まえた活動】

1 現在の個別活動の継続・充実

分野	団体・活動名	
① 高齢者支援	篠原福祉ネットワーク委員会	ミニデイサービス（9団体）
	しのはら人生一服亭	老人会（9団体）
	さわやか昼食会	オレンジ♥しのはら
	ルンルンロコモ体操教室	しのはら相談室
	元気づくりステーション（ゆっくり歩幸会）	見守り（しのはら相談室、COCOしのはら）
② 障がい者支援	コーヒーふれんど	とも・とも篠原
③ 子育て支援	名称	対象
	子育てサロン らっこ	未就園児親子
	しのはらランド	未就学児親子、異世代交流
	親子学級「ふれんど」	3・4歳児親子
	パパれん	未就学児父子
	くれよん KID'S	0歳～未就園児親子
	わんぱく同盟	1歳頃～未就園児親子
	はぴっこ	0歳～未就園児親子
	NPO 横浜子育て支援グループ ぽっけ	就学前児童（主に0歳～3歳）
	COCO しのはら	1歳～3歳
子ども会（10団体）	小学生児童	

2 子育て世代の母親への支援

- ・子育てや家事の負担が女性へ集中し過ぎている現状の認識
- ・男性の意識改革、実態改善の必要
- ・母親のリフレッシュ、自由な時間やゆっくりする時間を、皆で協力して造り出す

3 多様性（障がい児者、LGBT等）の理解と支援

- ・現実や実態をもっとよく知り、理解しよう
- ・誰もが気やすく参加できる場を作ろう

4 ボランティア活動の担い手の発掘

- ・一人に1つのボランティア活動
- ・男性や中高生への具体的な呼びかけ
- ・「よこはまシニアボランティアポイント」制度の活用

5 つながりの広がり

- ・篠原福祉ネットワークの拡充
- ・今あるネットワークを活用した困りごとの検討
- ・合同文化祭を越えた、篠原地域ケアプラザ・篠原地区センターとの連携
- ・学校との連携強化

6 ホームページの活用

- ・各団体が各自で更新できる体制を確立する為の研修や、取り組みの展開
- ・区役所、区社協のホームページとのリンク
- ・次世代の人材確保
- ・SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等、発信方法の多様化と活用を検討

活動に関する問合せ

◆ 篠原地域ケアプラザ
 TEL.045-423-1230
 FAX.045-423-1257
 HP.http://www.yokohamashakyo.jp/shinohara/



「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆ 港北区役所福祉保健課事業企画担当
 TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368
 Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp
 ◆ 港北区社会福祉協議会
 TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561
 Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

たすけあうまち城郷

わたしたちが 目指すまち

- ・世代や立場を越えた交流が「ひろがるまち城郷」
- ・担い手が広がり、活動が「つながるまち城郷」
- ・助け合いや支援の輪が「とどくまち城郷」
- ・必要な情報が伝わり、相談しやすい「安心のまち城郷」

「子育て」「見守り」
「地域活性化」
3分科会が分担しつつ
連携して取組めます。

4期の取組目標

◆ 地域住民が安心して暮らせるまちを目指します。

- [取組] ・ 障がい児者等の災害時要援護者支援の学習会開催
・ 支えあい連絡会主催の講座を支援



小学校高学年を対象とした福祉講座

◆ 子育て中の世代が安心して暮らせるまちづくりを推進します。

- [取組] ・ 子育てサロンの開催頻度向上
・ 子どもの交流の場の新規開設
・ しろさと地区放課後プラザの活動への継続支援
・ たまり BA こづくえの活動への継続支援
・ 障がい児者への理解向上を目指した学習会開催



小学生の放課後の居場所
(地域ケアプラザ)

◆ 地域住民が互いに交流を深め、「顔の見える関係づくり」を進めるとともに、誰もが安心して健やかに暮らせるまちを目指します。

- [取組] ・ ホットカフェ (みんなの居場所) やクローバー会、
濱なかまなどへの活動支援
・ 介護予防、認知症予防、健康増進の各活動推進



週1回開催の高齢者サロン
(宿根会館・ホットカフェ)

◆ 5年後、10年後を見据え、地域活動の核となる人材の確保を目指します。

- [取組] ・ 人材確保のための周知を推進
・ 担い手確保のための仕組みづくりの構築

◆ 必要な人に必要な情報が伝わり、相談しやすい環境づくりを進めます。

- [取組] ・ 地域活動の「見える化」と「普及啓発」
・ 地域活動団体との交流と連携強化
・ 様々なツールを活用した情報発信の実践

【地区の概況】

地区
の概況

新横浜の都心地区に隣接しており、JR 横浜線小机駅、市営地下鉄ブルーラインの岸根公園駅があります。地区の北側は鶴見川に接する平地で、農地も残っています。地区の南側は起伏のある丘で、樹林地が残る住宅市街地になっています。

人口等
の特徴

人口は24,169人、世帯数は11,765世帯、平均世帯規模は2.05人です。(令和2年9月末現在)人口・世帯数は少しずつ増加しています。6歳未満の子どもがいる世帯は緩やかに減少していますが、20代の転入は増加しています。高齢者の単身世帯が増えています。

3期計画の振り返り

◆ 今までの取組

- ・「誰もが安心して暮らせるまち城郷」の実現を目指し、「ホッとカフェ」(みんなの居場所)の地域開放や「クローバー会」「とりやまの郷」など新たな居場所を創出しました。
- ・子育てサロンの臨時開催やたまりBAこづくえの支援を行い、子どもの居場所を拡充しました。
- ・「支えあい連絡会」や「見守り分科会」では、高齢者・障がい児者の理解を深めるための勉強会を開催しました。
- ・「地域活動団体交流会」を実施し、自治会町内会と地域活動団体とのネットワーク構築を推進しました。
- ・「城郷探検」を開催し、男性の地域参加へのきっかけづくりを行いました。



障がい児者理解の勉強会の開催
(地域ケアプラザ)



高齢者サロン「とりやまの郷」での体操
(鳥山公民館)



地域活動団体交流会で活動交流
(地域ケアプラザ)

◆ 地域の現状と課題

- ・古くから住んでいる住民の多いエリアがある一方、若い世代の転入が増え、地域のつながりが希薄になっています。住民同士が交流できる、身近な居場所が必要です。
- ・地域活動が盛んで、多くの方が活動に参加していただきますが、担い手は不足している状況です。引続き、新たな担い手の発掘・確保に力を入れて取り組む必要があります。
- ・必要な人に必要な情報が的確に届くような仕組みづくりが必要です。

◆ 計画推進の体制

- ・地区連合町内会、地区社協をはじめ、地区民児協、地域支えあい連絡会、地域ケアプラザ、地区ボランティア連絡会等により「たすけあうまち城郷」推進委員会を構成します。定期的に会議を開催し、年度ごとに振り返りを行います。推進委員会は、「子育て」「見守り」「地域活性化」の3分科会に分かれ、連携しながら取組を推進します。

活動に関する問合せ

◆ 城郷小机地域ケアプラザ

TEL.045-478-1133

FAX.045-478-1155

HP.<https://shuhokai.or.jp/office/kohoku-ku/cp-kozukue.php>

「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆ 港北区役所福祉保健課事業企画担当

TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

◆ 港北区社会福祉協議会

TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

「和・輪・話」のまち につば

わたしたちが 目指すまち

絆のまち につば

高齢者が楽しく元気に活動できるまちにしよう
 住んでいる人どうし、支え合うまちにしよう
 一人ひとりが地域のことに関心を持つまちにしよう
 子どもが大人になっても住み続けたいまちにしよう
 お互いにあいさつをし、みんなで明るく安心できるまちにしよう

【地区の概況】

地区 の概況

地区の中央を南北に市営地下鉄ブルーラインが通り、新羽駅と北新横浜駅の2駅を擁し、高速横浜環状北線の新横浜出入り口も設置され、交通の利便性が高いことから、住宅街だけでなく、工場や倉庫の立地も見られます。近くの鶴見川の堤防ではジョギング、ウォーキング、サイクリングが楽しめます。西側には丘陵が広がり、公園、畑、山林、竹林が点在し自然の多い地域です。

人口等 の特徴

人口、世帯数は今後も緩やかに増加します。20歳代を中心に、若い方の転入が増える傾向にあります。一方、割合は少ないものの、高齢の単身世帯や高齢の夫婦のみの世帯は増加しています。後期高齢者は引き続き現在と同じ傾向で増加し、今後10～15年間で現在の倍近くになります。

3期計画の振り返りと4期計画の方向性

◆ 今までの取組

3期は5つの部会（健康づくり、担い手・情報発信、子ども、住民交流、見守り）で掲げた目標ごとに、下記のような具体的な取り組みを進めてまいりました。

- ・「月例ウォーキング」「ポールウォーキング」の実施、「大新羽音頭」の普及推進、「スリーA」の開催などを通じた健康づくり
- ・イベントカレンダーの発行による地域の情報発信
- ・「ふれあい写真教室」「男の料理教室」の開催による住民間の交流促進
- ・自治会と町内会と民生委員等が連携した災害時要援護者支援の取り組み

◆ 地域の現状と課題

様々な地域の行事や活動が活発に行われていますが、新たな担い手の発掘が課題となっています。

◆ 今後の方向性

- ・4期は新たに「健康づくり」「住民交流」「情報」の3つの部会に再編成します。現在行っている地域活動をより充実させ、新たに必要と思われる取り組みなどに着手し、団体同士の連携を深めていきます。

目 標

- ・新羽の魅力を多くの住民に伝えます。
- ・地域でできる見守り、支えあいの取り組みを進めます。
- ・地域ぐるみで子どもを育み、子どもたちのふるさとづくりを進めます。
- ・健康づくりや介護予防につながる活動への参加者を増やし、地域を活性化します。
- ・気軽に行くことができる場や機会を増やし、自宅に閉じこもりがちな方の参加を呼びかけます。
- ・高齢者や障害者などへの理解を深める活動を進めます

これまでの地域の活動



月例ウォーキングの実施



ふれあい写真撮影会



野菜作りを通じた健康づくり



イベントカレンダーの発行



地域食堂の活動支援

活動に関する問合せ
◆新羽地域ケアプラザ
TEL.045-542-7207
FAX.045-531-7011
HP.http://nippa-cp-ch.jp



「ひっとプラン港北」に関する問合せ
◆港北区役所福祉保健課事業企画担当
TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368
Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp
◆港北区社会福祉協議会
TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561
Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

いいな！ みんなのまち 新吉田

わたしたちが
目指すまち

地域とのつながりを大切に
みんなが手をつなぐまち 新吉田

～支えあい 明るく安心して暮らせるまち～
～世代間の交流 話し合いができるまち～
～なかよく健康にすごせるまち～

【地区の概況】

地区
の概況

区の中央部にあり、早淵川と鶴見川に面しています。地区の東側は戸建てが多く、マンションも点在し、工場等の企業拠点があります。西側は起伏の激しい丘陵地で、農地や樹林地が残ります。令和2年度に宮内新横浜線が整備され、交通の利便性が向上しました。

人口等
の特徴

居住歴の長い人が多く、一人暮らしの高齢者が増えています。今後は高齢化が進み65歳未満の人口は緩やかに減少する見通しです。

3期計画の振り返りと4期計画の方向性

◆ 今までの取組

第3期中の平成30年度に新たに「健康づくり部会」が発足し、4部会で取組を推進しています。第3期中には、未就学児子育てサロン「フリースペースよしだっこ」や、心身の健康づくりに取り組む「やすらぎ塾」など、新たな活動が創出されました。

災害時要援護者支援体制の勉強会では、全町会の取組を共有しました。また、高齢者の徘徊（ひとり歩き）を早期に発見する支えあいネットワーク「さがしてネット」により、見守りの体制を強化しました。

【やすらぎ塾のウォーキング】



【フリースペースよしだっこ】



◆ 地域の現状と課題

- ・健康づくりやサロン等の福祉保健活動が活発で、近隣同士の見守りが根ざす地区です。
- ・既存の活動においても担い手が不足している状況を踏まえ、周知を進める必要があります。

◆ 今後の方向性

「子育て支援部会」「高齢者支援部会」「災害時要援護者支援部会」「健康づくり部会」の4部会を中心とし、感染予防に注意しながら、活動に取り組めます。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

4部会での取組に加え、町内会・自治会、地区社会福祉協議会、地域福祉活動団体の代表者で構成した推進委員会を、年2回以上開催します。また、地区連合町会長会議の場でも進捗を共有します。

4期の目標

- 【健康づくり】誰でも参加できる「からだところの健康づくり」の活動を推進します。
- 【高齢者支援】高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりを進めます。
- 【子育て支援】安心して子育てができるまちを目指します。
- 【災害時要援護者支援】要援護者の実情を日頃から把握し、災害時、支援が必要な人を地域で支える取組をします。

新吉田地区の活動と今後の取組

【子育て支援】

★「よしだっこ」

「フリースペースよしだっこ」

のクリスマス会や夏祭りには、多くの方が参加してくれました。



「よしだっこ」のご案内リーフレットも作成しました！

★「オンラインよしだっこ」

令和2年度は感染症対策として、おうちで出来る手遊びや工作を、動画で配信しました。



HPはこちら



【高齢者への支援】

★「さがしてネット」の取組

では認知症行方不明高齢者検索模擬訓練に加え、小学生の保護者の皆様へ広報もしていきます。



登録はこちら

【災害時要援護者の支援】

★日頃から要援護者の状況を把握します。

★災害発生時に円滑な支援ができるように取り組みます。

★要援護者支援の活動について、定期的に啓発します。

★災害時要援護者マップの調整、情報カード等の作成、勉強会などを実施しました。



勉強会

【健康づくり】

健康維持の意識の高い新吉田地区では、やすらぎ塾および各自治会を中心に健康づくり活動に取り組んでいます。

★「やすらぎ塾」…ウォーキングや健康マージャンなどの活動を中心に、男性の地域参加を目指して活動しています。



★老人会ではグラウンドゴルフ、趣味の会などを開催し、地域の交流を深めています。

★認知症サポーター養成講座を実施し認知症に対する正しい知識を広めています。

★一人暮らし高齢者の火災を予防するために、呼びかけや訪問を行います。

★ケアプラザが会場

- ・ふきのとう
- ・すみれ会

★町内会館が会場

- ・元気な笑顔
- ・さわやか北部
- ・なでしこ会
- ・さわやか体操

★地区センターが会場

- ・新田クラブ
- ・シルバー体操新吉田
- ・さわやかクラブ
- ・さわやかクラブ虹



活動に関する問合せ

◆新吉田地域ケアプラザ
TEL.045-592-2151
FAX.045-592-0105
HP.https://www.y-kyousei.or.jp/sinyoshida/



「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆港北区役所福祉保健課事業企画担当
TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368
Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp
◆港北区社会福祉協議会
TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561
Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

明るく 楽しく 支えあう ヒューマンネットワーク あすなる

わたしたちが 目指すまち

みんながコミュニケーションをとれるまち あすなる

- ・子どもも大人も安心して安全に生活できる、
活力あるまち
- ・誰もが困っている人に手を差し伸べられるまち
- ・みんなが交流を深め、まちづくりに参加するまち



あすなるくん

【地区の概況】

地区 の概況

区の中央部にあり地区の東側・北側を早淵川、南側を鶴見川に接している住宅地です。戸建て住宅が多くなっています。

人口等 の特徴

新吉田・新吉田あすなる地区の人口は、約 28,550 人、世帯数 13,050 世帯、平均世帯規模は 2.19 人です。(令和2年9月末現在) 20～39歳の転入や、6歳未満の子どもがいる世帯が増加しています。高齢者の比率は区・市の平均よりも高く、特に高齢者の単身世帯が増加しています。(*人口・世帯数などの統計データは、新吉田地区と共通です)

3期計画の振り返り

◆ 今までの取り組み

「納涼福祉盆踊り」「防災訓練」「ふれあい運動会」の取組を長年継続し、交流を活発にしてきました。また、認知症高齢者の徘徊(ひとり歩き)を早期に発見し、事故なく保護する「さがしてネット」の活動に取り組んできました。

あわせて、新田中学校の生徒を対象に「認知症サポーター養成講座」を行い、認知症への理解をはぐくみ、助けあう関係性をつくっています。



◆ 地域の現状と課題

- ・高齢化率が高く、単身者の増加もあり、支援が必要な高齢者が増えています。
- ・若い世代の転入が増加傾向にあり、地域とのつながりづくりや未来を担う人材の育成が必要です。
- ・鶴見川流域に位置し、河川氾濫の危険が高い地域です。1人1人が風水害に備える必要があります。

計画推進の体制・振り返りの方法

- ・自治会町内会や地区社会福祉協議会、福祉活動団体等の代表者で構成する推進委員会を定期的に開催し、事業の実施や推進状況の確認を行います。また、必要に応じて委員会を設置します。

第4期の取組目標

- (1) より多くの方が、支援が必要な人への理解を深め、地域での見守りにつなげます。
 - ・「さがしてネット」の活動を様々な世代に周知・啓発します。
 - また、拠点プレートの100か所設置を目指し、協力者を増やします。
 - ・中学生を対象とした「認知症サポーター養成講座」を開催し、地域での見守りの輪を広げます。
 - ・地域防災拠点訓練などで、障害の理解を深めるための取組(人形劇の依頼など)を継続して行います。
- (2) 健康づくりなどの様々な活動を支援し、住民同士の交流を進めます。
 - ・屋外や少人数での活動についても検討し、健康づくりやサロンの活動を継続します。
 - ・あすなろさわやかスポーツ、夏祭り・盆おどり、運動会等の多世代が交流する機会をつくります。
 - またこども会との連携や交流を促進します。
 - ・掲示板・回覧板の活用とともに、若い世代へ情報が届くような仕組みを検討します。
- (3) 災害に備えた取組を充実させます。
 - ・自治会町内会と民生委員との連携により、災害時要援護者名簿の共有や見守りを進めます。
 - ・要援護者からの意思表示がわかるような取組を、自治会町内会単位で進めます。
 - ・より多くの方が風水害の危険を理解できるよう、防災講座や拠点訓練を通じて情報を発信します。

これまでの地域の活動

さがしてネット

新吉田地区
との合同訓練



「徘徊かな？」と思ったら～
さがしてネット
～徘徊高齢者連絡所～

連絡所が不在の場合

昼間 新吉田地域ケアプラザ 592-2151
夜間 港北警察署 546-0110

メール配信
のご登録は
こちら



鶴見川の防災連続講座



国土交通省京浜河川事務所提供

認知症サポーター養成講座



活動に関する問合せ

◆ 新吉田地域ケアプラザ

TEL.045-592-2151

FAX.045-592-0105

HP.<https://www.y-kyousei.or.jp/sinyoshida/>



「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆ 港北区役所福祉保健課事業企画担当

TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

◆ 港北区社会福祉協議会

TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp

みんなが笑顔 助け合いのまち高田

わたしたちが 目指すまち

- ・お互いさまの気持ちで広げる助け合い
- ・同世代の交流や世代間の交流を進め、
いっそう活気のあるまちにしよう
- ・思いやりと支え合いの心で、気軽に地域活動に参加してみよう

【地区の概況】

地区 の概況

区の北西部にあり、地区の北側の一部は市街化調整区域になっています。居住者の約60%は戸建住宅に住んでいます。市営地下鉄グリーンラインの高田駅があり、また、令和2年度に宮内新横浜線が整備されました。

人口等 の特徴

20歳代の転入が増加していますが、一方で居住歴が長い人が多く、高齢者の比率も高くなっています。平均世帯人数は少なくなってきましたが、区の平均を上回る状態が続いています。人口、世帯数とも今後はほぼ安定した状態になりますが、順次高齢化していきます。

3期計画の振り返りと4期計画の方向性

◆今までの取組

「災害時要援護者支援」では、各町内会が地域に密着したきめ細かい対策に取り組み、その取組を通じて隣近所との繋がりを深める事を目指しました。

また、地区社会福祉協議会では、地域で活動している団体が、団体同士で横の繋がりを持てるよう、顔の見えるネットワーク作りに努めました。

◆地域の現状と課題

ひとり暮らし高齢者が増えてきている反面、その方々を見守る役割を担う人材不足が顕著。

人材不足現象はすべての領域で悪化しており、特に民生委員の選出には、相当な困難を伴っている。

また、活動の拠点となる場所が少なく、ある程度の人数を収容できる場所は、地域ケアプラザのみ。その中で、2020年度には、空き家となった民家を使わせてもらい「カフェ、レンタルスペース、イベント開催」等を実施する居場所～ゆずの樹～が新しく加えられた事は朗報。



◆今後の方向

- ・高田町連合町内会と高田地区社会福祉協議会が連携を深めて、地域の福祉活動に取り組む体制の構築
- ・感染症対策が必要とされる時代の、見守り・支援等の福祉活動の新しい形の模索
- ・活動をシンプル化し、民生委員だけでなく、地域住民が広く関わるような福祉活動が展開される地域を目指す
- ・地域ケアプラザとも、より深く、密な関係を築く

目 標

- ・支援が必要な人を把握し、日頃から見守っていき、地域のネットワークで支えます
- ・地域活動への参加と交流を通じて、顔の見える関係づくりを進めます
- ・子どもたちと地域のつながりを深め、まちぐるみで子育てを支えます

高田地区ネットワーク

高田町連合町内会

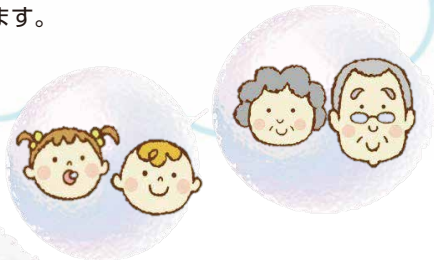
高田町内会・高田中央町内会・高田町親和会
高田東町会・高田町住宅自治会・高田町住宅親交会
自治会しらすか・高田西原自治会

防犯・防災活動や住民相互の親睦、町の環境整備に取り組んでいます。ひっとプランでは自治会町内会ごとに災害時要援護者支援に取り組み、要援護者の把握や、日常的な見守り活動を行っています。

地域防災拠点訓練へは、感染対策等の基準に従い参加しましょう。

高田地区社会福祉協議会

高齢者、子ども、障害者の方々とその活動団体の声を聞く機会を設けるなど、地域の福祉活動団体同士のネットワークづくりを行っています。



青少年
指導員協議会

「青少年の健全な育成」を願い、パトロールやあいさつ運動、ペットボトルロケット製作講習会、夏休みバスツアー等を行っています。

民生委員
児童委員協議会

地域において住民の立場に立って、赤ちゃんから高齢者まで世代を問わず相談に応じています。また必要な支援が受けられるよう、地域の専門機関とのつなぎ役も担っています。75歳以上高齢者世帯の見守り訪問事業や高齢サロン・障害児者支援・子育て支援事業などにも参加しています。

高田消防団

災害発生時の消火活動、救助、避難訓練などの他、防災訓練等の啓発活動を行っています。

スポーツ推進委員
連絡協議会

地域のスポーツ振興を目的に、港北駅伝大会をはじめ子どもから高齢者まで楽しめるスポーツでベタンク大会・グラウンドゴルフ大会等を開催し、スポーツ普及・育成活動を推進し、健全な町作りに取り組んでいます。

家庭防災員

地域防災の担い手として活躍するため、研修を受け、活動をしています。

保健活動推進委員会

地域における健康づくりの推進役として、各種研修を受け、ウォーキングや健康測定会などの活動をしています。禁煙おすすめ隊の啓発活動も行っています。

明るい選挙
推進協議会

選挙に関する啓発活動を行っています。



高田地区キャラクター たかたん

環境事業
推進委員

ゴミの分別排出の啓発や、地域の美化活動に取り組んでいます。

子育てネットワーク

親と子のつどいの広場
「たかたんのおうち」

高田小学校
高田東小学校
高田中学校

高田地域
ケアプラザ

みんなの居場所
「ふらっと高田」

活動に関する問合せ

◆ 高田地域ケアプラザ
TEL.045-594-3601
FAX.045-594-3605
HP.<http://www.ryokuhokai.or.jp/~takada/index.html>



「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆ 港北区役所福祉保健課事業企画担当
TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368
Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp
◆ 港北区社会福祉協議会
TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561
Eメール info@kouhoku-shakyo.jp